

金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科

中森 千佳子 教授

学生時代に出会った恩師の教えから、家政学を通して人の生き方や幸せを研究されるようになった中森先生。子どもの消費者社会化とその影響要因について研究を重ね、生活経営学の講義などを通じて学生たちに話をされています。「家政学という学問は人間の生活そのものを学ぶこと」と話し、「この学びを通して本当の幸せや豊かな生活とは何かを判断できる人になってほしい」と願っていらっしゃいます。



消費者の発達に及ぼす環境の大切さを学び、
人間本来の幸せとは何かを知ってほしい

中森千佳子教授／生活環境学部長、消費生活科学研究所長など歴任、現在国際交流センター長。お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻修了、家政学修士。日本家政学会、国際家政学会、日本消費者教育学会、日本家庭科教育学会所属。日本家政学会家政学原論部会長、文部科学省教科用図書検定調査審議会委員ほか。

2人の先生との出会いが 家政学を学ぶきっかけに

大学進学の際に「今まで自分が知らなかった領域のことを勉強したい」と思い、家政学を専攻しました。4年生になって毎日のようにゼミの仲間や先生方と時を忘れていろいろなことを語り合ったのですが、そこで出会った2人の恩師がこの道を選んだきっかけになりました。

1人は考古学、もう1人は生理人類学を専門とする先生から、骨や化石から人間をみる文化的な視点と、人間行動を脳波や心電図で分析する実験的な手法を教わりました。人間を知るには社会科学と自然科学の両方の見方と手法が必要であることを学びました。特に、「どんなに着飾っても皮膚の下は骨」という考古学の先生の一言が人の見方を変えました。さらに人間の生活そのものが家政学という学問の対象になるというお話を聞いたときはとても感銘を受け、日常生活や家政学に対する印象が大きく変わったことを覚えています。人間とその生活にますます興味をもち、勉強が好きではないのに大学院に進学し、勉強ではなく「研究」のおもしろさを実感しました。

生活経営学を通して 豊かな生活や幸せを考察

現在は生活経営学や消費者教育論などを担当しておりますが、授業の中で私の研究を紹介しています。研究テーマの一つは「子どもがどのように消費者としての知識や技能を身につけていくか」です。例えばお金の概念をいつ認識し、使い方を習得するのかを

中森先生はどんな人!?

専門演習(卒論ゼミ)を履修する4年生および院生の皆さんに、中森先生について伺いました。「1から10まで教えるのではなく、考えるチャンスを与えてくれる」と多くの声が聞かれ、「専門知識だけではなく、人生についても教えてくれる」「人間とは何かを考えるきっかけをもらった」とも。また「授業以外でも親身に相談のってくれる」と優しいお人柄も伺えました。

調べるために、3歳の子どもに「100円と缶ジュースのどちらがほしいか」をたずねます。3歳では子どもの多くはお金という抽象的概念がわからないので缶ジュースを選びますが、中には100円を選択し使い方まで理解している子もいます。おそらく、家庭内での両親の会話からそういう知識が身につくのでしょう。

日本の家庭ではお金の概念やお金の使い方を子どもに教えるということはありません。「お金を貯めないと将来困るよ」と教えることはあっても、なぜ貯めるのか、それを将来どう使いたいのかその意義を教えることが少ないのです。こうして将来の目的も持たずに貯金をする人が増える反面、中にはカード破産や借金などで身を滅ぼす若者もいます。これはお金に対するきちんとしたとらえ方が身につけていないからです。

この研究テーマはそもそも「お金って何だろう」という問題意識から始めたのですが、学生たちには授業を通して人間本来の幸せとは何か、豊かな生活とは何かを見いだしてほしいと思います。さらにその中で女性としての生き方を自分自身でしっかりと把握し、自分や家族の幸せはもちろん人類や地球レベルで「本当の幸せとは何か」を判断できる力を身につけてもらえればと思っています。

環境が及ぼす影響を理解し その学びを将来に活かす

その他にも北海道の美利河小学校(写真)を調査対象とした「山村留学の

効果」について研究しています。少人数教育や異年齢集団、また実親と離れて生活する里親制度という環境が子どもの心身の発達を促す要因であることがわかりました。例えばクラスが50人いると全員の顔を見るのは難しいけれど、10人だとお互いの名前を呼び、顔を見て話をすることで相手や自分の存在価値を知ることができます。またさまざまな役割を与えられることで、未知なる能力を発揮することもあるのです。



里親宅では、子どもたちは決して甘やかされることなく、里親のもとでさまざまなルールや役割を与えられて生活しますから、きちんとした生活習慣が身につくようになります。親の元に戻った時にあらためて親のありがたさを実感することで、人間としての成長にもつながるのです。

人間は誰もがそれぞれに優れた能力を持っています。その能力を引き出す要因は環境です。環境で人間は大きく変わるとことを理解し、その学びを活かし、自分や家族、ひいては人類にとってよりよい環境を提案することができる女性になってほしいと願っています。

